

	知識的側面	価値・態度的側面	技能的側面
第三次取りまとめの記載	<p>この側面の資質・能力は、<u>人権に関する知的理解に深く関わるものである。</u></p> <p>人権教育により身に付けるべき知識は、自他の人権を尊重したり人権問題を解決したりする上で具体的に役立つ知識でもなければならない。例えば、<u>自由、責任、正義、個人の尊厳、権利、義務などの諸概念についての知識、人権の歴史や現状についての知識、国内法や国際法等々に関する知識、自他の人権を擁護し人権侵害を予防したり解決したりするために必要な実践的知識等</u>が含まれるであろう。このように多面的、具体的かつ実践的であるところにその特徴がある。</p>	<p>この側面の資質・能力は、技能的側面の資質・能力と同様に、<u>人権感覚に深く関わるものである。</u></p> <p>人権教育が育成を目指す価値や態度には、<u>人間の尊厳の尊重、自他の人権の尊重、多様性に対する肯定的評価、責任感、正義や自由の実現のために活動しようとする意欲</u>などが含まれる。人権に関する知識や人権擁護に必要な諸技能を人権実現のための実践行動に結びつけるためには、このような価値や態度の育成が不可欠である。こうした価値や態度が育成されるとき、人権感覚が目覚めさせられ、高められることにつながる。</p>	<p>この側面の資質・能力は、価値的・態度的側面の資質・能力と同様に、<u>人権感覚に深く関わるものである。</u></p> <p>人権の本質やその重要性を客観的な知識として知るだけでは、必ずしも人権擁護の実践に十分であるとはいえない。人権に関わる事柄を認知的に捉えるだけではなく、その内容を直感的に感受し、共感的に受けとめ、それを内面化することが求められる。そのような受容や内面化のためには、様々な技能の助けが必要である。人権教育が育成を目指す技能には、<u>コミュニケーション技能、合理的・分析的に思考する技能や偏見や差別を見きわめる技能、その他相違を認めて受容できるための諸技能、協力的・建設的に問題解決に取り組む技能、責任を負う技能</u>などが含まれる。こうした諸技能が人権感覚を鋭敏にする。</p>
列記されている要素	<ul style="list-style-type: none"> ・自由、責任、正義、平等、尊厳、権利、義務、相互依存性、連帯性等の概念への理解 ・人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識 ・憲法や関係する国内法及び「世界人権宣言」その他の人権関連の主要な条約や法令等に関する知識 ・自尊感情・自己開示・偏見など、人権課題の解決に必要な概念に関する知識 ・人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳、自己価値及び他者の価値を感知する感覚 ・自己についての肯定的態度 ・自他の価値を尊重しようとする意欲や態度 ・多様性に対する開かれた心と肯定的評価 ・正義、自由、平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲や態度 ・人権侵害を受けている人々を支援しようとする意欲や態度 ・人権の観点から自己自身の行為に責任を負う意志や態度 ・社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳の平等性を踏まえ、互いの相違を認め、受容できるための諸技能 ・他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性 ・能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能 ・他の人と対等で豊かな関係を築くことのできる社会的技能 ・人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、偏見、差別を見きわめる技能 ・対立的問題を非暴力的で、双方にとってプラスとなるように解決する技能 ・複数の情報源から情報を収集・吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に到達する技能 等

人権教育開発事業での評価指標の考え方について

	第三次取りまとめでの記載	既存の指標の例
知識的側面	・自由、責任、正義、平等、尊厳、権利、義務、相互依存性、連帯性等の概念への理解	<ul style="list-style-type: none"> ・「考える」ことが、友達とのコミュニケーションの基礎です【埼玉県】 ・命は、かけがえのない大切なものです【埼玉県】 ・友達と考えや気持ちを伝えあうことは大切です【埼玉県】 ・人は、誰も一人ひとり価値ある存在です【埼玉県】 ・良い集団を作るには、積極的に意思決定に参加することが大切です【埼玉県】 ・自分は、たった一人の大切な存在です【埼玉県】 ・集団生活の中で、責任を果たすことは大切です【埼玉県】 ・様々な価値観を持った人々と暮らしていることを理解しています【埼玉県】
	・人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識	
	・憲法や関係する国内法及び「世界人権宣言」その他の人権関連の主要な条約や法令等に関する知識	
	・自尊感情・自己開示・偏見など、人権課題の解決に必要な概念に関する知識	・身近にある差別について理解しています【埼玉県】
	・人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識 等	
価値・態度的側面	・人間の尊厳、自己価値及び他者の価値を感知する感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな時でも、自分の命を大切にしています【埼玉県】 ・友達をいつも大切にしようとしています【埼玉県】
	・自己についての肯定的態度	・ありのままの自分を大切な存在と受け止めようとしています【埼玉県】
	・自他の価値を尊重しようとする意欲や態度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や勉強などでクラスの人から認められることがある【鳴門市】 ・様々な価値観を尊重しようとする態度を身に付けています【埼玉県】 ・友達地のコミュニケーションを深めようと努めています【埼玉県】
	・多様性に対する開かれた心と肯定的評価	・人間としてあっていい違いとあっていけない違いがあります【福岡市】
	・正義、自由、平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲や態度	・正義を守ろうとする気持ちがあります【埼玉県】
	・人権侵害を受けている人々を支援しようとする意欲や態度	<ul style="list-style-type: none"> ・人を傷つける言い方をする人がいても、黙ってみえています【福岡市】 ・差別を許さない態度を身に付けています【埼玉県】
	・人権の観点から自己自身の行為に責任を負う意志や態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身に嘘をついたり、ごまかしたりしたことはありますか【福岡市】 ・他人に嘘をついて公開したことはありますか【福岡市】
・社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度 等	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の一員として責任を果たそうとしています【埼玉県】 ・より良い集団作りに自分から進んで参加しようとしています【埼玉県】 	

人権教育開発事業での評価指標の考え方について

	第三次取りまとめでの記載	既存の指標の例
技能的側面	・人間の尊厳の平等性を踏まえ、互いの相違を認め、受容できるための諸技能	・自分と違う意見もわかろうと、話し合います。【福岡市】 ・自分と異なる価値観を持つ友達に対しても関わることができます【埼玉県】
	・他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性	・友達の気持ちを考えることができます【埼玉県】 ・人や動物など生命あるもののぬくもりを感じ取ることができます【埼玉県】 ・誰とでも分け隔てなく、協力して取り組むことができます【埼玉県】
	・能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能	・自分の考えをわかりやすく友達に伝えることができます【埼玉県】 ・自分の役割や責任をもってやり遂げることができます【埼玉県】
	・他の人と対等で豊かな関係を築くことのできる社会的技能	・誰に対しても公平です【埼玉県】 ・良い集団を作るため、多くの友達と協力して行動することができます【埼玉県】 ・集団の一員として多くの人に支えられていることに気づいています【埼玉県】
	・人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、偏見、差別を見きわめる技能	・偏見とは自分の思い込みに従って決めつけることです【福岡市】
	・対立的問題を非暴力的で、双方にとってプラスとなるように解決する技能	・両方が納得することを考えて言います【福岡市】
	・複数の情報源から情報を収集・吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に到達する技能 等	・話し合いの時に自分と違う考えも聞きます【福岡市】